

2021年度 事業報告書

特定非営利活動法人 アジアの新しい風

1 事業の成果

2021年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により対面型の事業の実施が前年度に続いて困難となり、オンラインを活用した事業を中心におこなった。支援事業として、Iメイト交流校のインドネシア・パジャジャラン大学学生によるオンラインスピーチコンテストを2021年10月に実施したほか、新たな取り組みとして交流校学生と会員によるオンラインによる日本語会話練習の「おしゃべりの場」を設け、交流校学部生の日本語能力の向上に大いに寄与した。また2022年2月には、会員、交流校Iメイトや教員、元Iメイト OBOG、世田谷区の中高校生などが参加したオンラインによる交流会を行い、日本とアジアとの相互理解を深めることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【1,069】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
日本語教師の派遣	派遣事業は休止						0円
学習者支援事業	・スピーチコンテスト パジャジャラン大学 ・オンライン会話練習 「おしゃべりの場」 3大学と延べ15回開催	2021年 10月 2021年 7月～ 2022年6 月	オンライ ン交流	10名	交流校日 本語学習 者、会員 ほか	51名 延べ参加 290名	49千円
Iメイトのためのネットワーク構築事業	・Iメイト事務局 貿易大、パジャジャラン大学の学生コーディネーターにIメイト事務局を依頼 タマサート大学日本語学科教員に新たにIメイト事務局設置を依頼 清華大学東亜言語学科教員にIメイト事務局の継続を依頼	2021年9 月 2021年 10月 2021年9 月		3名	交流校日 本語学習 者、会員 ほか	72名	431千円

	・Iメイト交流新規マッチング 清華大 タマサート大 貿易大 パジャジャラン大 架け橋グループ	2021年 10月～ 12月		6名			
日本での文化交流事業	総会後の講演会 新春交流会 Iメイト交流会 詳細別紙1参照	2021年9月 2022年2月	JICA 地球ひろば オンライン交流	10名	交流校日本語学習者、会員ほか	50名 155名 延べ183名	39千円 34千円
留学生支援事業	詳細別紙1参照						0円
留学生奨学金事業	アジ風奨学金 詳細別紙1参照						0円
就職活動支援	詳細別紙1参照						0円
アジア諸国訪問、文化交流事業	新型コロナ感染症の拡大で訪問交流事業は中止 オンライン形式で清華大 学訪問	2022年5月	オンライン交流	10名	交流校日本語学習者、会員ほか	47名	0円
普及啓発事業	会報「アジ風新聞」季刊発行、 別冊Iメイト便り17号発行 NPO&団体との協働 詳細別紙1参照 HPの保守と充実 Twitter公式アカウント開設	1, 4, 7, 10 月発行 2021年9 月発行		10名	アジ風会員、非会員等	300名	516千円

日本での文化交流事業

① 総会後の講演

2021年9月12日 オンラインにより50名を超える会員が参加して、講師・吉開 章氏（電通ダイバーシティ・ラボ研究員）による「やさしい日本語」の講演を実施

② 国内交流会（オンラインで結んで国際交流事業として実施）

1) 新春交流会

- ・ 交流校4か国5グループ75名と日本人会員52名、世田谷区の中高校生28名
総勢155名参加のオンラインによる新春交流会を実施した。
- ・ 「若者文化」をテーマに、交流校、日本から、それぞれの国特有の文化とアジアでの共通の文化について紹介があり、双方向の文化交流を行った。

2) Iメイト交流会

交流校Iメイト学生とIメイト会員を結んだオンライン交流会を実施

- ・ 架け橋グループ 2021年9月、2022年1月 延べ参加人数23名
- ・ 貿易大学 2021年11月、2022年4月 延べ参加人数62名
- ・ パジャジャラン大学 2022年2月 延べ参加人数40名
- ・ 清華大学 2022年3月 延べ参加人数47名
- ・ タマサート大学 2021年12月 延べ参加人数11名

留学生支援事業

- ・ 生活支援金

実績なし

留学生奨学金事業

- ・ アジ風奨学基金

実績なし

就職活動支援

- ・ 必要に応じて個別に対応

普及啓発活動

- ・ NPO&団体との協働

新たな協働先として新春交流会等に参加実績のある Online 塾 DOORS、東京ヒューマンライブラリー協会、鷗友学園女子中学高等学校を追加し、ホームページに掲載